

※¹初期荘園…10世紀以降、律令制度の衰退とともに消滅

「荘園」発生のプロセス ²寄進地系荘園の発生

①中下級貴族・大名田堵・地方豪族が土地開発（開墾）…³開発 領主（⁴在地 領主）

②現地の政治を一任されている⁵国司との対立…税負担など

③中央の権力者（貴族・皇族・寺社）に⁶寄進 する（収益の一部を供与する契約を結ぶ）

- ・寄進が行われると墾田は⁷荘園、開発(在地)領主は⁸荘官 = 役人（≠領主）となる。
- ・法的には、寄進を受けた側が領主（⁹荘園領主）になる。
- ・現地での業務は荘官が行うが、立場も権限も弱い。

例：荘園領主は荘官を一方的に罷免できる。豊作不作で税率を調整するなどの権限も荘官にはない

- ・荘官の種類…¹⁰上司・¹¹甲司・¹²預所・¹³下司・¹⁴公文・¹⁵荘司・¹⁶地頭・¹⁷雑掌など
- ・荘園領主側から派遣される荘官もあり、複数で職務を分担。

④荘園領主は、さらに強い立場を得るため、より¹⁸上級の貴族や有力な皇族に寄進する。

- ・最初に寄進を受けた者を¹⁹領家、そこから寄進を受けた上級領主を²⁰本家 という。
- ・両者がほぼ同時に成立する場合もある。また、実質的な支配権を持つ方を²¹本所 という。

※各々の地位は「²²職」と呼ばれる利権。個々に相続・売買された。<例> 本家職、領家職、預所職、下司職

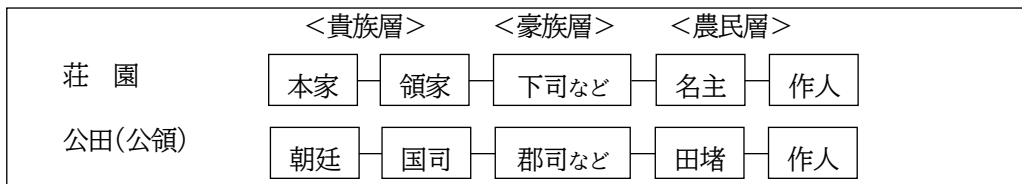
※著名な荘園 <例>²³鹿子木荘（²⁴肥後国）…11世紀に成立 寄進文書が有名

²⁵梶田荘（²⁶紀伊国）…12世紀に寄進 絵図が現存 境界(榜示)などを描く
耕地だけでなく山川河海も含む²⁷領域型荘園

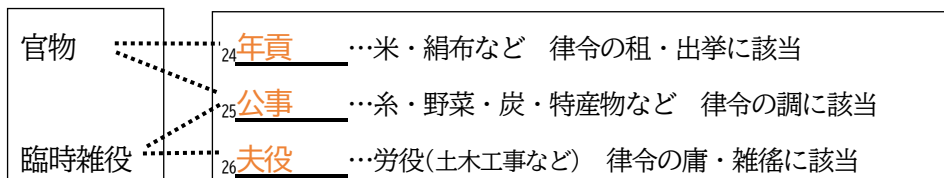
荘園の内部構造 ※農民層は公田とほぼ同じ

付近の（公田の）有力農民=²⁸田堵が、一定期間、耕作と納税を請う
請け負った田を耕作する土地を²⁹名（名田）という。

→請負の長期化により所有意識が生まれ、田堵は³⁰名主 と呼ばれるようになっていく



☆田堵（名主）が負担する税の変化



※公領(公田)ならば、これらは郡司=在庁官人=地方豪族を通じて国司へ。さらに国へ。

荘園の特権化

荘園(墾田)=私有地であっても、墾田は²⁷輸租…国へ納税義務あり

※かつて税は人頭税(庸調)中心で、土地(田)にかかる税=租は低率(3%)で大きな負担ではなかったが、10世紀以降、税が土地課税に変わった(年貢)ため、負担は大きくなった。

→荘園領主は、朝廷に免税特権=²⁸不輸の権を要求 認定される荘園は次第に増加

- ・²⁹官省符荘…³⁰太政官符・³¹民部省符で認定(この手続きを³²立券荘号という)
- ・³³国免荘こくめんしのしょう…国司が免判を発行した荘園 国司の任期中のみ免税

→さらに³⁴検田使(国司が派遣する土地調査の役人)の立入拒否=³⁵不入の権も要求

荘園の増加・公田の減少

国司による国免荘の増加や、荘園領主や在地領主による公田の荘園化

→朝廷は、³⁶荘園整理令を発して、³⁷不法な荘園や新規荘園を禁止

<例>³⁸延喜の荘園整理令[902] 寛徳の荘園整理令[1045]

→不徹底…³⁹政権担当者の藤原摂関家が最大級の荘園領主

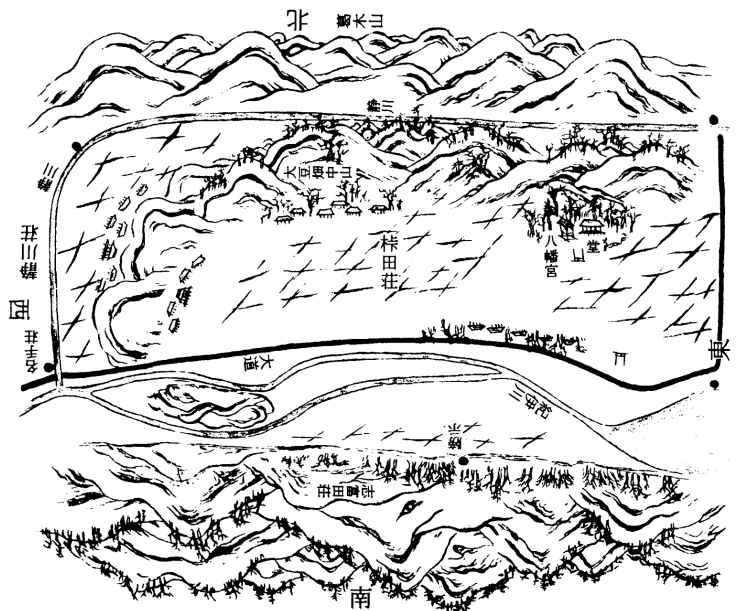
ただし、荘園の過剰な増加は彼らにとっても⁴⁰俸給の減少を招くため、荘園の増加は

一定の範囲内(1割程度)にとどまった ※摂関家の収入は荘園よりも高位高官からの俸給と成功

正誤問題練習 誤文を一つ選べ。

<大学入試センター2005年A追試験>

- ① 荘域内には信仰・宗教にかかわる施設がある。
- ② 黒い丸印は、いずれもかんがい灌漑用水の取り入れ口を示している。
- ③ 荘域の南部に「紀伊川」、北部から西部にかけて「静川」が流れている。
- ④ 荘域内の北部にある山のすそ、および東西に走る道沿いに民家がある。



紀伊国栲田荘絵図(模写図。一部改めたところがある。)

※1初期荘園…10世紀以降、律令制度の衰退とともに消滅

「荘園」発生のプロセス 2寄進地系荘園の発生

①中下級貴族・大名田堵・地方豪族が土地開発（開墾）…3 _____ 領主 (4 _____ 領主)

②現地の政治を一任されている5国司との対立…税負担など

③中央の権力者（貴族・皇族・寺社）に6 _____ する（収益の一部を供与する契約を結ぶ）

・寄進が行われると墾田は7 _____、開発(在地)領主は8 _____ =役人（≠領主）となる。

・法的には、寄進を受けた側が領主（9荘園領主）になる。

・現地での業務は荘官が行うが、立場も権限も弱い。

例：荘園領主は荘官を一方的に罷免できる。豊作不作で税率を調整するなどの権限も荘官にはない

・荘官の種類…10 _____ 11 _____ 12公文・13 _____ 14 _____ 15 _____ など

荘園領主側から派遣される荘官もあり、複数で職務を分担。

④荘園領主は、さらに強い立場を得るため、より16 _____ の貴族や有力な皇族に寄進する。

・最初に寄進を受けた者を17 _____、そこから寄進を受けた上級領主を18 _____ という。

・両者がほぼ同時に成立する場合もある。また、実質的な支配権を持つ方を19 _____ という。

※各々の地位は「20 _____」と呼ばれる利権。個々に相続・売買された。<例> 本家職、領家職、預所職、下司職

※著名な荘園 <例>21 _____ (22肥後国)…11世紀に成立 寄進文書が有名

23 _____ (24紀伊国)…12世紀に寄進 絵図が現存 25 _____ (境界(勝示)などを描く

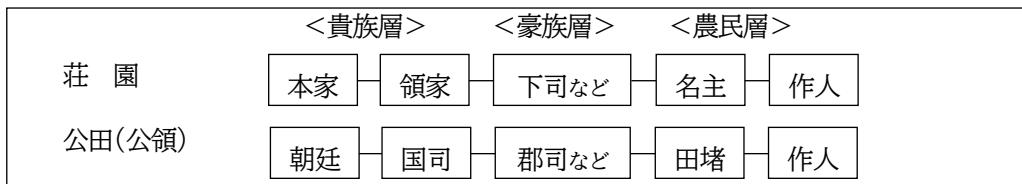
耕地だけでなく山川河海も含む26 _____ 領域型荘園

荘園の内部構造 ※農民層は公田とほぼ同じ

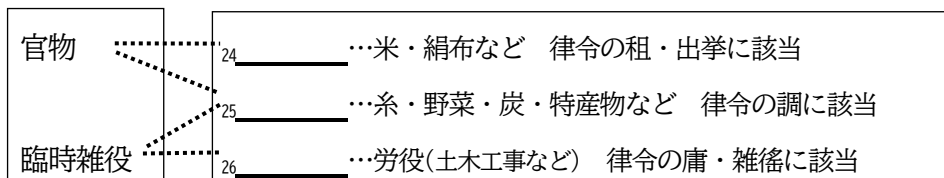
付近の（公田の）有力農民=27田堵が、一定期間、耕作と納税を請う

請け負った田を耕作する土地を28 _____ (名田)という。

→請負の長期化により所有意識が生まれ、田堵は29 _____ と呼ばれるようになっていく



☆田堵（名主）が負担する税の変化



※公領(公田)ならば、これらは郡司=在庁官人=地方豪族を通じて国司へ。さらに国へ。

荘園の特権化

荘園(墾田)=私有地であっても、墾田は²⁷輸租…国へ納税義務あり

※かつて税は人頭税(庸調)中心で、土地(田)にかかる税=租は低率(3%)で大きな負担ではなかったが、10世紀以降、税が土地課税に変わった(年貢)ため、負担は大きくなった。

→荘園領主は、朝廷に免税特権=²⁸_____の権を要求 認定される荘園は次第に増加

・²⁹_____…³⁰太政官符・³¹民部省符で認定(この手続きを³²立券荘号という)

・³³_____…国司が免判を発行した荘園 国司の任期中のみ免税

→さらに³⁴_____ (国司が派遣する土地調査の役人)の立入拒否=³⁵_____の権も要求

荘園の増加・公田の減少

国司による国免荘の増加や、荘園領主や在地領主による公田の荘園化

→朝廷は、³⁶_____を発して、³⁷不法な荘園や新規荘園を禁止

<例>³⁸延喜の荘園整理令[902] 寛徳の荘園整理令[1045]

→不徹底…³⁹政権担当者の藤原摂関家が最大級の荘園領主

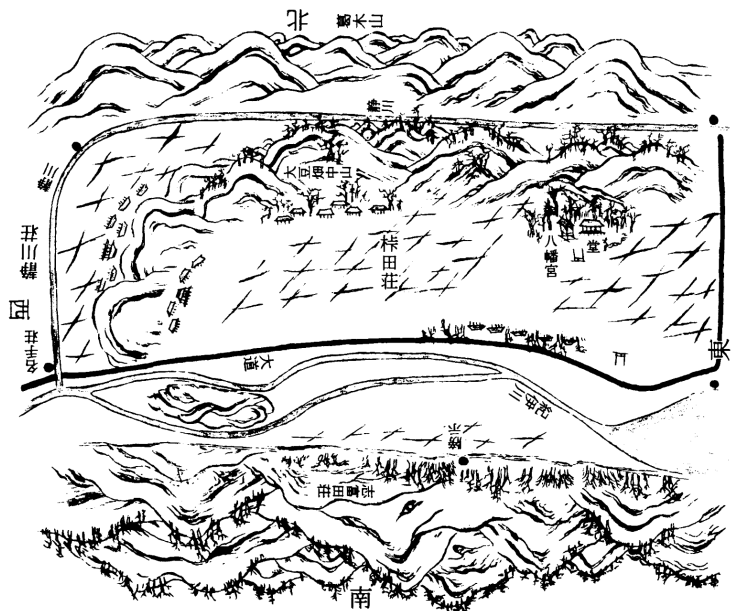
ただし、荘園の過剰な増加は彼らにとっても⁴⁰俸給の減少を招くため、荘園の増加は

一定の範囲内(1割程度)にとどまった ※摂関家の収入は荘園よりも高位高官からの俸給と成功

正誤問題練習 誤文を一つ選べ。

<大学入試センター2005年A追試験>

- ① 荘域内には信仰・宗教にかかわる施設がある。
- ② 黒い丸印は、いずれも灌漑用水の取り入れ口を示している。
- ③ 荘域の南部に「紀伊川」、北部から西部にかけて「静川」が流れている。
- ④ 荘域内の北部にある山のすそ、および東西に走る道沿いに民家がある。



紀伊国栲田荘絵図(模写図。一部改めたところがある。)